

平成27年度 発達障害研究所 所内セミナープログラム

日時 平成28(2016)年3月3日(木) 09時00分～15時15分  
4日(金) 09時00分～16時35分

場所 管理棟講堂

発表時間 一人20分(発表:12分 質疑応答:8分)

3月3日(木)

所長あいさつ(09:00-09:05)

周生期学部(09:05-10:25)

- 1.東雄二郎 「周生期学部の研究概要とその成果」
- 2.西崎有利子 「モワット・ウィルソン症候群の原因遺伝子Sip1の機能と役割」
- 3.高木豪 「Mowat-Wilson症候群における興奮性神経の病態への関与の検討」
- 4.中西圭子 「新生児脳障害モデルラットに対するラット臍帯血幹細胞の効果」
- 5.時田義人 「WNTシグナル分子の変異と外胚葉異形成症」

休憩(10:25-10:35)

遺伝学部(10:35-12:15)

- 1.若松延昭 「本年度の遺伝学部の研究概要とその成果」
- 2.山田憲一郎 「ECHS1の生化学的解析と軽症型ECHS1欠損症の病態解明」
- 3.鈴木 香 「疾患モデルマウスを用いたSLC19A3異常症の病態解明と治療へのアプローチ」
- 4.福士大輔 「染色体の構造異常が見られる知的障害の病因解明」
- 5.鈴木康予 「PIK3CA-related overgrowth spectrum (PROS)の診断および治療に関する検討」

休憩(12:15-13:30)

神経制御学部(13:30-15:15)

- 1.永田浩一 「部門の研究の総括」
- 2.浜田奈々子 「大田原症候群の原因遺伝子Munc18-1の脳皮質形成における機能解明」
- 3.田畑秀典 「脳皮質アストロサイト前駆細胞の移動と配置における血管との相互作用」

- 4.伊東秀記 「海馬歯状回顆粒細胞の生後発達における低分子量Gタンパク質Racの機能」
- 5.水野 誠 「大脳皮質形成におけるNR1D1の関与」
- 6.稲熊 裕 「大脳皮質形成におけるPIK3C3の機能解析」

3月4日(金)

発生障害(09:00-10:40)

- 1.中山 敦雄 「発生障害学部の研究の状況」
- 2.川口 禎晴 「自閉症関連因子TSC2の可逆的アセチル化による機能制御」
- 3.深田 斉秀 「HDAC6欠損マウスが示すドパミン神経系の異常」
- 4.松木 亨 「神経系におけるReelinおよびStk25シグナルの役割ならびにヒト神経細胞の長期培養系の確立」
- 5.飯尾 明生 「ニューロリギン4Xのエピジェネティックスによる発現制御機構の解析」

休憩(10:40-10:50)

教育福祉学部(10:50-12:10)

- 1.舟橋厚 「動物介在活動中の自閉症児の笑顔とFace to face 行動の同期に関する検討」
- 2.長谷川桜子 「地域で生活する重症心身障害のある人たちの実態」
- 3.竹澤大史 「自閉症スペクトラム障害のある幼児の養育者を対象としたペアレントトレーニングの効果」
- 4.田村綾菜 「日常的な体カトレーニングが知的障害のある青年の持久力と主観的運動強度に及ぼす影響」

休憩(12:10-13:30)

機能発達学部(13:30-14:10)

- 1.伊東保志 「表面筋電図と筋音図を手掛りとした嚥下機能評価」
- 2.中村みほ 「ウィリアムズ症候群幼児における日本語語彙獲得」

休憩(14:10-14:20)

病理学部(14:20-16:00)

- 1.榎戸靖 「オリゴデンドロサイト分化異常が惹起する脳発達障害の分子病態」
- 2.岸宗一郎 「後期エンドソーム/リソソームコレステロール輸送障害によるオリゴデンドロサイト分化異常に対するmicroRNAの効果」

- 3.稲村直子 「リソソーム病モデルマウスにおける白質傷害の形態学的解析」  
4.河内全 「脳室周囲白質軟化症モデルにおけるモノアシルグリセロールリパーゼの生理機能」  
5.島田厚良 「内側側頭葉てんかん患者の海馬硬化におけるタンパク質の発現変動と酸化損傷」

休憩（16：00－16：05）

所長（16：05－16：25）

細川昌則 「この1年の研究所活動」

副所長あいさつ（16：25-16：30）

年間優秀論文賞発表（16：30-16：35）